

武蔵野市調査から見えてくる東京郊外住民像の変貌

The Changes of Lifestyle in Tokyo Suburb Residents from the Research in Musashino-city

有 末 賢 (亜細亜大学都市創造学部 教授)

Ken ARISUE (Director/Professor of Urban Innovation, Asia University)

〔要旨 / Abstract〕

本稿は、武蔵野市産業振興事前調査（2017年度；武蔵野市生活経済課委託調査）の中でも住民アンケート調査や来街者調査から見えてくる、東京郊外住民像の変貌を都市社会学の観点から考察したものである。大都市郊外地域は、最近の都心回帰の影響を受けて、人口減少や空き家なども目立ち、車による外環道などへの大型ショッピングセンターの影響によって、駅前商店街の衰退化が見られたりしている。しかし、JR 中央線沿線の吉祥寺、三鷹、武蔵境の3駅を利用している武蔵野市住民は、高齢化は見られるものの、駅前商店街の衰退化は他地域と比べるとそれほどは見られない。また、余裕のある層では、起業への意欲なども見られた。本稿では、「駅勢圏」という概念を用いて、3駅の比較と、地域住民のペルソナ像を浮き彫りにした。

キーワード：郊外住民像、居住、消費生活、駅勢圏

In this report, I try to investigate the changes of lifestyle of citizen in Musashino-city Tokyo. I introduce the data of the housing situation, the household income, the distance from the nearest station, the consumption life from neighboring shopping center as each three areas in Musashino-city. Kichijouji area, is near Kichijouji-station, Central area is near Mitaka-station, and Musashisakai area is near Musashisakai-station.

In the last, I investigate the research data of visitors of three stations. Kichijouji, Mitaka (North-exit), Musashisakai. I illustrate the notion of "Station effect range" and the comparative analyze of three stations.

keywords : Tokyo suburb residents, consumption life-style, "station-effect-range"

1. はじめに

武蔵野市は、東京都特別区（23区）に隣接し、東京のほぼ真ん中に位置する人口約14万6千人の自治体である。今回の武蔵野市産業振興調査においては、従来の武蔵野市の商業、工業、金融業などの在来の企業・商店の振興策だけを考えるのではなく、郊外住宅地域としての武蔵野市の位置を考慮して、JR 中央線3駅（吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅）の駅勢圏を把握することから始めた。武蔵野市の位置からしても、重要な交通機関であり、三駅の特徴や駅勢圏を把握することは、

産業振興計画の策定においても重要であると判断した。

また、今回、住民アンケート、企業アンケート、来街者アンケートなど多方面から武蔵野市の実態をつかもうと努力している。これは、産業、特に商業の実態は、消費動向や買い物動向、人の流れ、若者の価値志向など多様な実態調査を複合的に活用していかないと理解できないからである。つまり、住民や都会人の住まい方、働き方、暮らし方など多様な指標（インデックス）を総合して見ていかないと、後期近代、高度資本主義的生活様式の下では把握しそこなう現象も多いのである。例えば、「移動と生活」という局面では、通

勤・通学などの日常的移動とともに、携帯電話やスマホなどIT技術に囲まれたデジタル生活では、買い物もインターネット消費が多用され、自宅にいる「配達」型買い物が多くなっている。それでは、いわゆる「家にいる時間」が多くなっているかという点、必ずしもそうではない。駅を中心に鉄道、バス、自転車などの交通手段を利用する外出もまた、多くなっている。産業の面から見ると、「宅配」サービスの充実や働き方の多様化なども見られるし、女性の就業機会の増大によって、「共働き夫婦」が多くなり、いわゆる「専業主婦」の減少が著しい。それは、戦後高度経済成長期に普遍化した「性別分業型」家族の終焉を意味し、男女平等の流れが意識においては主流となっている。しかし、日本社会は決してジェンダー平等な社会ではなく、さまざまな面で女性の不満も表面化していると言える。

本稿では、都市社会学の観点から、武蔵野市調査から見えてくる「東京郊外住民像」の変貌を考察していく。東京圏の郊外住宅地域の都市社会調査は、今までに多くの実態調査が行われ、東京の郊外住民像が構築されてきた。1960年代以降の住民運動の担い手、70年代以降のコミュニティの主体を始めとして、核家族、ニューファミリー、中流意識、ショートケーキ型住宅地や画一的消費者像、二世帯住宅など、サブカルチャーとオタク的行動様式、M君（少年A）などの少年犯罪と結び付けられる郊外型生活構造、都心回帰と空き家化する郊外住宅地、団地の高齢化とニュータウンのゴーストタウン化、孤独死と福祉見守り隊、などの東京圏の郊外住宅地域住民像に貼られたレッテルや社会現象は数多く見られる。しかし、確実な社会調査に基づいた考察がどれだけあるかとなると心もとない感じである。今回は、我々の調査に基づいた武蔵野市住民像の変貌を考察していきたい。

また、武蔵野市には、交通機関として、電車、バスなど多くの機関が存在しているが、JR中央線が何といても中心的な駅である。新宿方向から吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅の3つの駅が並んでいる。ちなみに、吉祥寺の手前は西荻窪駅で、武蔵境の先の駅は東小金井駅となる。武蔵野市は、23区の杉並区、練馬区と隣接し、また西東京市、小金井市、三鷹市とも隣接している。これから、吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅の3つの駅を取り上げ、それぞれの駅勢圏ごとの来訪者など

のペルソナ分析を試みている。

2. 本調査の特徴

『平成29年度 武蔵野市産業振興計画事前調査事業報告書』によると、本調査は、基礎調査としての『事業所・企業調査統計』『経済センサス』『商業統計調査』などからの統計データの引用などを除いて、独自の調査として、以下のものを行っている

・意向調査

- ① 学生アンケート
- ② 市民アンケート
- ③ 企業アンケート
- ④ 武蔵野市来街者調査

・団体調査

- ① 事業者ヒアリング調査
- ② 事業者意向調査

今回の論稿において使用したデータは、この中で意向調査の②市民アンケート調査と④武蔵野市来街者調査のデータである。調査方法としては、意向調査は基本的にインターネット調査を使い、学生アンケート、市民アンケートはモニターサイトへの返信、企業アンケートは経済センサス調査時対象とした全事業所・企業を対象として、アンケートサイトへの返信記入を回収率（381%）とするポスティング調査である。また、来街者調査は後に記述するようにストリートキャッチ調査であり、対象者への調査員による質問と回答によって構成されている。事業者ヒアリング調査は言うまでもなく、面接によるインタビュー調査である。事業者意向調査もこの時点ではインタビュー調査である。

本稿の中心的データである「市民意向調査」（市民アンケート）のは、2017年12月19日～12月26日に行われ、回収数はトータル（総合）で1953票であった。地域（居住地）別の数は、以下である。

合計	1953
杉並区	219
練馬区	215
武蔵野市（吉祥寺地域）	190
武蔵野市（中央地域）	123
武蔵野市（武蔵境地域）	133
三鷹市	215

西東京市	214
調布市	213
新座市	215

今回、筆者は初めてインターネット調査のデータを使用して、都市社会学的な考察の論稿を執筆した。量的調査において、インターネット調査の特徴は、母集団に対するサンプリング（標本抽出）を行わないという点である。この点は、識字率（リテラシー）から考えて、調査票の読み書き（識字）をほぼ100%と前提したうえで、母集団から無作為に標本を抽出する調査票調査に対して、まだ70歳以上、80歳以上の人たちなど、パソコンを利用してない人々を母集団と考えると、インターネット調査で住民票や有権者名簿などから無作為に抽出した上で、インターネットでアンケートへの回答をお願いするというやり方が難しいと考えられているからであろう。そうすると、回答者の中から、高齢層やパソコンを使用しない人々を初めから除くことになる。その上で、モニターへの返信を協力していただける人々を期限は設けながら、必要数になるまで待って、数をそろえていくわけである。このやり方が数学的、統計学的には無作為抽出とは異なることは明白であり、ある種の「作為」が働いていると言えな

くもない。しかし、母集団から無作為抽出を行ったうえで、インターネットでアンケート調査を実施した場合、おそらく回収率はまだ、10%にも満たなくなるかもしれない。そこを考慮すると、このようなモニター方式によるインターネット調査も現時点ではやむを得ないのではないと思われる。

なお、本稿では触れることができなかったが、前述の『報告書』において、4. 各種論考において以下の論稿が執筆されている。

- ・三好出「武蔵野市における住民アンケート調査」
- ・三好出「街頭アンケート一考」

三好は、私が利用したクロス集計だけでなく、特化係数（交通手段 n）を基準としたクラスタリングや来街者調査の自由記述をサンプリングしてキーワード解析を行っている。注目すべき分析であろう。

3. 住民像の変貌

それでは、これから武蔵野市を中心としてデータから住民像の変貌を見ていきたい。

3-1. 居住タイプと年収

居住地域については、武蔵野市を3つの地域に分けている。①吉祥寺地域（——吉祥寺東町、吉祥寺南町、

表1

居住地X居住タイプ

- TOTALでは、「持ち家（一戸建て）」が42.5%と最も高くなっている。
- 武蔵野市（中央地域）では、「持ち家（マンション）」が28.5%と高く、「持ち家（一戸建て）」は低かった。
- 武蔵野市（武蔵境地域）は「借家（アパート・マンション等）」が39.1%と高く、「持ち家（一戸建て）」は低かった。

	上段：度数	下段：%	n	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション）	借家（一戸建て）	借家（アパート・マンション等）	社宅・寮
TOTAL	1953	100	831	414	35	412	61	3.1
			42.5	21.2	1.8	31.3		
杉並区	219	100	96	37	4	75	7	3.2
			43.8	16.9	1.8	34.2		
練馬区	215	100	76	37	6	89	7	3.3
			35.3	17.2	2.8	41.4		
武蔵野市(吉祥寺地域 — 吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町)	190	100	85	34	4	60	7	3.7
			44.7	17.9	2.1	31.6		
武蔵野市(中央地域 — 中町、西久保、練町、八幡町)	123	100	41	35	2	38	7	5.7
			33.3	28.5	1.6	30.9		
武蔵野市(武蔵境地域 — 関前、境、境南町、桜堤)	133	100	43	32	1	52	6	3.8
			32.3	24.1	0.8	39.1		
三鷹市	216	100	95	48	1	67	7	3.2
			44.0	21.3	0.5	31.0		
小金井市	215	100	100	44	5	55	11	5.1
			46.5	20.5	2.3	25.8		
西東京市	214	100	101	49	5	57	2	0.9
			47.2	22.9	2.3	28.6		
調布市	213	100	80	53	2	73	5	2.3
			37.6	24.9	0.9	34.3		
新座市	215	100	114	47	5	46	3	1.4
			53.0	21.9	2.3	21.4		

■ 地域・ポイント別情報
 ①ポイント
 ②TOTAL

表2

居住地X居住年数

- TOTALでは、「10～20年未満」が26.1%と最も高く、次いで「30年以上」が21.8%となっている。
- 武蔵野市（吉祥寺地域）では、「30年以上」が29.5%と高かった。
- 武蔵野市（中央地域）では、「3～5年未満」が14.6%と高かった。
- 武蔵野市（武蔵境地域）では、「30年以上」が15.0%と低かった。

	上段:度数 下段:%											
	n	%	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30年以上			
TOTAL	1953	100	56	148	183	311	500	320	426			
杉並区	219	100	5	14	17	35	59	34	55			
練馬区	215	100	2.3	6.4	7.6	16.0	26.9	15.5	25.1			
武蔵野市(吉祥寺地域 — 吉祥寺東町, 吉祥寺南町, 御殿山, 吉祥寺本町, 吉祥寺北町)	190	100	12	14	20	22	41	25	56			
武蔵野市(中央地域 — 中町, 西久保, 緑町, 八幡町)	123	100	5	8	18	15	34	19	24			
武蔵野市(武蔵境地域 — 関前, 境, 境南町, 桜堤)	133	100	4.1	6.5	14.6	12.2	27.6	15.4	19.5			
三鷹市	216	100	10	10	11	21	39	22	20			
小金井市	215	100	7.5	7.5	8.3	15.6	29.3	16.5	15.0			
西東京市	214	100	3	15	27	37	56	33	45			
国分市	213	100	1.4	6.9	12.5	17.1	25.9	15.3	20.8			
新座市	215	100	4	17	23	36	53	36	42			
調布市	214	100	1.9	7.9	10.7	17.7	24.7	17.7	19.5			
新座市	215	100	4	19	17	35	57	33	49			
調布市	213	100	1.9	8.9	7.9	16.4	26.6	15.4	22.9			
新座市	215	100	4	17	22	35	63	32	40			
新座市	215	100	3	19	13	29	51	54	46			
新座市	215	100	1.4	8.8	6.0	13.5	23.7	25.1	21.4			

2-2 市民アンケート

御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町) ②中央地域 (— 中町、西久保、緑町、八幡町) ③武蔵境地域 (— 関前町、境、境南町、桜堤) の3地域である。表1、表2、表3で見ると、居住地×居住年数、×居住タイプ、×

性が長く(30年以上、吉祥寺地域=29.5%、中央地域=19.5%、武蔵境地域=15.0%) 居住タイプは持ち家一戸建てである(吉祥寺地域=44.7%、中央地域=33.3%、武蔵境地域=32.3%) しかし、持ち家一戸建ては、全体でも42.5%であり、杉並区=43.8%、三鷹市=44.0%、

表3

居住地X性年代

- TOTALでは、「男性50-59歳」が20.6%と最も高くなっている。
- 武蔵野市（吉祥寺地域）では、「男性40-49歳」が8.9%と低かった。
- 武蔵野市（中央地域）では、「男性50-59歳」が12.2%と低く、「女性30-39歳」が14.6%と高かった。

	上段:度数 下段:%															
	n	%	男性10-19歳	男性20-29歳	男性30-39歳	男性40-49歳	男性50-59歳	男性60-69歳	男性70歳以上	女性10-19歳	女性20-29歳	女性30-39歳	女性40-49歳	女性50-59歳	女性60-69歳	女性70歳以上
TOTAL	1953	100	1	25	116	294	402	216	69	4	45	172	276	208	100	25
杉並区	219	100	0	1.3	5.9	15.1	20.6	11.1	3.5	0.2	2.3	8.8	14.1	10.7	5.1	1.3
練馬区	215	100	0	0.5	7.3	15.5	18.7	12.8	4.1	0.0	1.8	8.7	11.0	13.7	5.0	0.9
武蔵野市(吉祥寺地域 — 吉祥寺東町, 吉祥寺南町, 御殿山, 吉祥寺本町, 吉祥寺北町)	190	100	1	1	8	17	45	20	7	1	8	18	25	22	13	4
武蔵野市(中央地域 — 中町, 西久保, 緑町, 八幡町)	123	100	0	2	7	19	15	13	6	0	3	18	17	13	10	0
武蔵野市(武蔵境地域 — 関前, 境, 境南町, 桜堤)	133	100	0	1.6	5.7	15.4	12.2	10.6	4.9	0.0	2.4	14.6	13.8	10.6	8.1	0.0
三鷹市	216	100	0	1	11	15	31	10	3	2	6	8	19	18	6	3
小金井市	215	100	0	0.6	8.3	11.3	23.3	7.5	2.3	1.5	4.5	6.0	14.3	13.5	4.5	2.3
西東京市	214	100	0	4	12	34	45	26	7	1	3	17	32	20	10	5
国分市	213	100	0	1.9	5.6	15.7	20.8	12.0	3.2	0.5	1.4	7.9	14.8	9.3	4.6	2.3
新座市	215	100	0	5	10	39	42	29	9	0	7	18	22	21	9	4
調布市	214	100	0	3	10	33	49	23	9	0	2	17	33	15	16	4
調布市	213	100	0	1.4	4.7	15.4	22.9	10.7	4.2	0.0	0.9	7.9	15.4	7.0	7.5	1.9
新座市	215	100	0	3	17	39	51	20	5	0	7	19	30	16	5	1
新座市	215	100	0	1.4	8.0	18.3	23.9	9.4	2.3	0.0	3.3	8.9	14.1	7.5	2.3	0.5
新座市	215	100	0	2	14	29	40	20	10	0	4	21	45	23	7	0
新座市	215	100	0	0.9	6.5	13.5	18.6	9.3	4.7	0.0	1.9	9.8	20.9	10.7	3.3	0.0

2-2 市民アンケート

表4

居住地X世帯年収

- TOTALでは、「答えたくない」が14.6%、次いで「1000-1500万未満」11.1%と高くなっている。
- 三鷹市では、「1000-1500万未満」が16.7%と高くなっている。
- 新座市では、「1000-1500万未満」が6.0%と低くなっている。

	上段：度数 下段：%	世帯年収																	わからぬ 回答しない	答えたくない
		100万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	600万円未満	700万円未満	800万円未満	900万円未満	1000万円未満	1600万円未満	2000万円未満	2000万円以上						
TOTAL	1950 100	50 2.6	75 3.8	134 6.9	145 7.4	161 8.3	166 8.6	129 6.6	131 6.7	96 4.9	115 5.9	210 10.8	57 2.9	31 1.6	157 8.1	25 1.3	26 1.3			
杉並区	219 100	7 3.2	8 3.7	17 7.8	13 5.9	14 6.4	15 6.9	12 5.5	13 5.9	11 5.0	21 9.6	13 5.9	3 1.4	17 7.8	4 1.8	3 1.3	4 1.8			
練馬区	245 100	5 2.3	8 3.7	9 4.2	10 8.8	10 8.8	19 9.8	17 7.9	8 2.8	12 5.6	34 6.5	25 11.6	7 3.3	4 1.9	13 6.0	3 1.6	3 1.6			
武蔵野市(吉祥寺地域 — 吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町)	190 100	8 4.2	9 3.2	13 6.8	15 7.9	15 7.9	16 8.4	10 5.3	9 4.7	5 2.6	8 4.2	24 12.6	8 4.2	18 9.5	2 1.1	2 1.1	2 1.1			
武蔵野市(中央地域 — 中町、西久保、緑町、八幡町)	121 100	6 5.0	6 5.0	12 9.9	13 10.7	5 4.1	7 5.8	7 5.8	3 2.5	6 5.0	16 13.2	3 2.5	5 4.1	6 5.0	1 0.8	1 0.8	1 0.8			
武蔵野市(武蔵境地域 — 関前、境、境南町、桜塚)	132 100	0 0.0	8 6.1	9 6.8	13 9.8	12 9.1	8 6.1	7 5.3	8 6.1	10 7.6	12 9.1	7 5.3	3 2.3	3 2.3	9 6.8	1 0.8	1 0.8			
三鷹市	216 100	5 2.3	13 6.0	14 6.5	14 6.5	9 4.2	23 10.6	11 5.1	22 10.2	9 4.2	11 5.1	36 16.7	8 3.7	4 1.9	22 10.2	2 0.9	2 0.9			
小金井市	215 100	5 2.3	9 4.2	16 7.4	17 7.9	23 10.7	15 7.0	16 7.4	13 6.0	7 3.3	25 11.6	3 1.4	1 0.5	15 7.0	1 0.5	1 0.5	1 0.5			
西東京市	214 100	6 2.8	4 1.9	10 4.7	9 4.2	18 8.9	19 8.9	15 7.0	15 7.0	19 8.9	25 11.7	2 0.9	3 1.4	0 0.0	14 6.5	2 0.9	2 0.9			
調布市	213 100	0 0.0	6 2.8	14 6.6	14 6.6	25 11.7	23 10.8	17 8.0	13 6.1	22 10.3	19 8.9	5 2.3	2 0.9	19 8.9	1 0.5	1 0.5	1 0.5			
新座市	215 100	6 3.7	7 3.3	15 7.0	13 6.4	19 9.3	20 9.3	19 9.3	14 6.5	10 4.7	7 3.3	13 6.0	2 0.9	1 0.5	24 11.2	4 1.8	4 1.8			

■ 検定・ポイント差情報			
ポイント差	+5ポイント以上	+10ポイント以上	+20ポイント以上
対TOTAL行	-5ポイント以下	-10ポイント以下	-20ポイント以下

2-2 市民アンケート

小金井市46.5%、西東京市=47.2%、新座市=53.0%などに比べると決して武蔵野市の持ち家一戸建ての比率は高くはない。特に吉祥寺地域以外の中央と武蔵境は低いと言っても良い。性年代でも、全体の男性50歳代=20.6%に対して、武蔵野市中央地域の女性30歳代=

14.6%は、多い方で目立ち、吉祥寺地域、男性40歳代=8.9%、中央地域、男性50歳代=12.2%は、少ない方で目立っている。表4の居住地×世帯年収で見ると、1000万円~1500万円が全体で11.1%と一番多く、武蔵野市吉祥寺地域=12.6%、中央地域=13.2%

表5

居住地X最寄り駅移動手段

- TOTALでは、「徒歩」が74.9%と最も高かった。
- 武蔵野市(吉祥寺地域)、武蔵野市(武蔵境地域)では、「徒歩」が8割以上を占めていた。
- 武蔵野市(中央地域)では、「徒歩」が66.7%と平均より低く、「自転車」が28.5%「バス」31.7%と高かった。

	上段：度数 下段：%	移動手段					
		自家用車	バイク	自転車	徒歩	バス	それ以外
TOTAL	1953 100	46 2.4	22 1.1	444 22.7	1483 74.9	425 21.8	4 0.2
杉並区	219 100	1 0.5	0 0.0	33 15.1	201 91.8	16 7.3	0 0.0
練馬区	215 100	4 1.9	1 0.5	45 20.9	185 86.0	17 7.9	1 0.5
武蔵野市(吉祥寺地域 — 吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町)	190 100	2 1.1	1 0.5	40 21.1	154 81.1	28 14.7	0 0.0
武蔵野市(中央地域 — 中町、西久保、緑町、八幡町)	123 100	0 0.0	0 0.0	35 28.5	82 66.7	39 31.7	0 0.0
武蔵野市(武蔵境地域 — 関前、境、境南町、桜塚)	133 100	1 0.8	0 0.0	32 24.1	111 83.5	29 21.8	0 0.0
三鷹市	216 100	3 1.4	3 1.4	66 30.6	101 46.8	104 48.1	0 0.0
小金井市	215 100	6 2.8	3 1.4	47 21.9	178 81.9	38 17.7	1 0.5
西東京市	214 100	1 0.5	4 1.9	53 24.8	174 81.3	30 14.0	0 0.0
調布市	213 100	5 2.3	3 1.4	36 16.9	168 78.9	41 19.2	1 0.5
新座市	215 100	23 10.7	7 3.3	57 26.5	111 51.6	93 43.6	1 0.5

■ 検定・ポイント差情報			
ポイント差	+5ポイント以上	+10ポイント以上	+20ポイント以上
対TOTAL行	-5ポイント以下	-10ポイント以下	-20ポイント以下

2-2 市民アンケート

表6

居住地X最寄り沿線

- TOTALでは、「JR中央線」が44.9%と最も高くなっている。
- 武蔵野市は「JR中央線」が8〜9割を占めていた。
- 武蔵野市(吉祥寺地域)は、「京王井の頭線」が13.2%と高かった。

上段: 通勤 下段: 下段	pp	JR山手線	JR有楽町線	JR武蔵野線	JR中央線	東武東上線	西武池袋線	西武有楽町線	西武豊島線	西武東武線	西武多摩川線	京王線	京王井の頭線	京王井の頭線	東武池袋線	東武池袋線	東武池袋線	東武池袋線	東武池袋線	その他
TOTAL	1953	1	0	49	44.9	86	262	2	2	180	7	262	16	166	48	26	8	38	8	
武蔵野市	100	0.1	0.0	2.5	44.9	4.4	13.4	0.1	0.1	9.2	0.4	12.4	0.8	5.4	2.5	1.3	0.4	1.8	0.3	
練馬区	215	0	0	0	4	10	102	2	2	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
武蔵野市(吉祥寺地域 - 吉祥寺駅前、吉祥寺南口、吉祥寺北口)	190	0	0	0	170	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
武蔵野市(中央地域 - 中野、南久保、練馬、八幡駅)	125	0	0	0	116	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
武蔵野市(武蔵境地域 - 練馬、境、有楽町、板橋)	133	0	0	0	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三鷹市	100	0.0	0.0	0.0	92.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
小倉作	215	0	0	0	200	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	
新倉市	214	0	0	0	14	0	71	0	0	129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
練馬市	213	0	0	0	7	0	0	0	0	0	184	16	0	0	0	0	0	0	0	
新倉市	100	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.4	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	
新倉市	215	1	0	49	0	76	87	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新倉市	100	0.5	0.0	22.8	0.0	35.3	40.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

■ 絶対・ポイント差情報	
ポイント差	+5ポイント以上
対TOTAL行	-5ポイント以下

2-2 市民アンケート

表7

居住地X最寄り沿線

- TOTALでは、「JR中央線」が44.9%と最も高くなっている。
- 武蔵野市は「JR中央線」が8〜9割を占めていた。
- 武蔵野市(吉祥寺地域)は、「京王井の頭線」が13.2%と高かった。

上段: 通勤 下段: 下段	pp	JR山手線	JR有楽町線	JR武蔵野線	JR中央線	東武東上線	西武池袋線	西武有楽町線	西武豊島線	西武東武線	西武多摩川線	京王線	京王井の頭線	京王井の頭線	東武池袋線	東武池袋線	東武池袋線	東武池袋線	東武池袋線	その他
TOTAL	1953	1	0	49	44.9	86	262	2	2	180	7	262	16	166	48	26	8	38	8	
武蔵野市	100	0.1	0.0	2.5	44.9	4.4	13.4	0.1	0.1	9.2	0.4	12.4	0.8	5.4	2.5	1.3	0.4	1.8	0.3	
練馬区	215	0	0	0	4	10	102	2	2	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
武蔵野市(吉祥寺地域 - 吉祥寺駅前、吉祥寺南口、吉祥寺北口)	190	0	0	0	170	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
武蔵野市(中央地域 - 中野、南久保、練馬、八幡駅)	125	0	0	0	116	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
武蔵野市(武蔵境地域 - 練馬、境、有楽町、板橋)	133	0	0	0	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三鷹市	100	0.0	0.0	0.0	92.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
小倉作	215	0	0	0	200	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	
新倉市	214	0	0	0	14	0	71	0	0	129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
練馬市	213	0	0	0	7	0	0	0	0	0	184	16	0	0	0	0	0	0	0	
新倉市	100	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.4	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	
新倉市	215	1	0	49	0	76	87	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新倉市	100	0.5	0.0	22.8	0.0	35.3	40.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

■ 絶対・ポイント差情報	
ポイント差	+5ポイント以上
対TOTAL行	-5ポイント以下

2-2 市民アンケート

と全体の平均よりは多いが、武蔵境地域=9.1%が多いとは言えない。三鷹市の1000万円~1500万円が16.7%と突出しているのに比べると、確かに吉祥寺地域は世帯年収が多いとは言えない。

3-2. 「駅近」の意味

次に表5、表6、表7を見てみよう。表5は、居住地×最寄り沿線であり、表6は、居住地×最寄り駅までの移動手段である。最寄り沿線は、武蔵野市住民は、8割、9割がJR中央線である。吉祥寺地域に京王井

の頭線という回答が13.2%いるが、あとの武蔵野市住民は95%以上が中央線沿線である。また、最寄り駅までの移動手段は、武蔵境地域で徒歩=83.5%と最も高く、次に吉祥寺地域、徒歩=81.1%となっている。中央地域では、徒歩=66.7%で、自転車=28.5%、バス=

31.7%の割合も高くなっている。表7は居住地別の最寄り駅までの時間であるが、武蔵野市では、15分以内のところにはほぼ75%の人が入っており、三鷹市、小金井市、西東京市などとはほぼ変わらないが、杉並区、練馬区の23区内が5分以内、10分以内のところには武蔵野

表8

居住地X最寄り駅移動手段

- TOTALでは、「徒歩」が74.9%と最も高かった。
- 武蔵野市（吉祥寺地域）、武蔵野市（武蔵境地域）では、「徒歩」が8割以上を占めていた。
- 武蔵野市（中央地域）では、「徒歩」が66.7%と平均より低く、「自転車」が28.5%「バス」31.7%が高かった。

上段：度数 下段：%	人数	自家用車	バイク	自転車	徒歩	バス	それ以外
TOTAL	1953	46	22	444	1,483	425	4
	100	2.4	1.1	22.7	74.9	21.8	0.2
杉並区	219	1	0	33	201	16	0
	100	0.5	0.0	15.1	91.8	7.3	0.0
練馬区	215	4	1	45	185	17	1
	100	1.9	0.5	20.9	86.0	7.9	0.5
武蔵野市(吉祥寺地域 — 吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町)	190	2	1	40	154	28	0
	100	1.1	0.5	21.1	81.1	14.7	0.0
武蔵野市(中央地域 — 中町、西久保、緑町、八幡町)	123	0	0	35	82	39	0
	100	0.0	0.0	28.5	66.7	31.7	0.0
武蔵野市(武蔵境地域 — 関前、境、境南町、桜堤)	133	1	0	32	111	29	0
	100	0.8	0.0	24.1	83.5	21.8	0.0
三鷹市	216	3	3	86	101	104	0
	100	1.4	1.4	30.6	46.8	48.1	0.0
小金井市	215	6	3	47	178	38	1
	100	2.8	1.4	21.9	81.9	17.7	0.5
西東京市	214	1	4	53	174	30	0
	100	0.5	1.9	24.8	81.3	14.0	0.0
調布市	213	5	3	36	168	41	1
	100	2.3	1.4	16.9	78.9	19.2	0.5
新座市	215	23	7	57	111	83	1
	100	10.7	3.3	26.5	51.6	38.6	0.5

■ 緑定・ポイント差情報
 ポイント差 対TOTAL行
 : +5ポイント以上
 : +5ポイント以下
 : +10ポイント以上
 : +10ポイント以下
 : +20ポイント以上
 : +20ポイント以下

表9

居住地X最寄り駅移動手段

- TOTALでは、「徒歩」が74.9%と最も高かった。
- 武蔵野市（吉祥寺地域）、武蔵野市（武蔵境地域）では、「徒歩」が8割以上を占めていた。
- 武蔵野市（中央地域）では、「徒歩」が66.7%と平均より低く、「自転車」が28.5%「バス」31.7%が高かった。

上段：度数 下段：%	人数	自家用車	バイク	自転車	徒歩	バス	それ以外
TOTAL	1953	46	22	444	1,483	425	4
	100	2.4	1.1	22.7	74.9	21.8	0.2
杉並区	219	1	0	33	201	16	0
	100	0.5	0.0	15.1	91.8	7.3	0.0
練馬区	215	4	1	45	185	17	1
	100	1.9	0.5	20.9	86.0	7.9	0.5
武蔵野市(吉祥寺地域 — 吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町)	190	2	1	40	154	28	0
	100	1.1	0.5	21.1	81.1	14.7	0.0
武蔵野市(中央地域 — 中町、西久保、緑町、八幡町)	123	0	0	35	82	39	0
	100	0.0	0.0	28.5	66.7	31.7	0.0
武蔵野市(武蔵境地域 — 関前、境、境南町、桜堤)	133	1	0	32	111	29	0
	100	0.8	0.0	24.1	83.5	21.8	0.0
三鷹市	216	3	3	86	101	104	0
	100	1.4	1.4	30.6	46.8	48.1	0.0
小金井市	215	6	3	47	178	38	1
	100	2.8	1.4	21.9	81.9	17.7	0.5
西東京市	214	1	4	53	174	30	0
	100	0.5	1.9	24.8	81.3	14.0	0.0
調布市	213	5	3	36	168	41	1
	100	2.3	1.4	16.9	78.9	19.2	0.5
新座市	215	23	7	57	111	83	1
	100	10.7	3.3	26.5	51.6	38.6	0.5

■ 緑定・ポイント差情報
 ポイント差 対TOTAL行
 : +5ポイント以上
 : +5ポイント以下
 : +10ポイント以上
 : +10ポイント以下
 : +20ポイント以上
 : +20ポイント以下

表10

居住地X武蔵野市内及び近隣 起業

- TOTALでは、「全然してみたいとは思わない」が37.4%と最も高くなっている。
- 武蔵野市（吉祥寺地域、武蔵境地域）では、「まあしてみたいと思う」が16.8%、18.8%と高かった。
- 武蔵野市（中央地域）では、「どちらともいえない」が35.8%と高かった。

上段: 直数 下段: %	n	是非 してみたい と思う	まあ してみたい と思う	どちら とも いえない	あまり し たい とは思 わない	全然 し たい とは思 わな い
TOTAL	1953	52	207	550	413	731
	100	2.7	10.6	28.2	21.1	37.4
杉並区	219	6	19	63	55	78
	100	2.7	8.7	28.8	25.1	34.7
練馬区	215	3	17	47	54	94
	100	1.4	7.9	21.9	25.1	43.7
武蔵野市(吉祥寺地域 — 吉祥寺東町, 吉祥寺南町, 御殿山, 吉祥寺本町, 吉祥寺北町)	190	13	32	55	37	53
	100	6.9	16.9	28.9	19.5	27.9
武蔵野市(中央地域 — 中町, 西久保, 緑町, 八幡町)	123	4	16	44	23	36
	100	3.3	13.0	35.8	18.7	29.3
武蔵野市(武蔵境地域 — 関前, 境, 境南町, 桜塚)	133	5	25	37	29	37
	100	3.8	18.8	27.8	21.8	27.8
三鷹市	216	4	20	66	48	78
	100	1.9	9.3	30.6	22.2	36.1
小金井市	215	7	22	63	45	78
	100	3.3	10.2	29.3	20.9	36.3
西東京市	214	2	25	64	49	74
	100	0.9	11.7	29.9	22.9	34.6
調布市	213	5	21	58	29	100
	100	2.3	9.9	27.2	13.6	46.9
新座市	215	3	10	53	44	105
	100	1.4	4.7	24.7	20.5	48.8

■ 設定: ポイント差情報
 ポイント差 対TOTAL計
 +5ポイント以上
 -5ポイント以下
 +10ポイント以上
 -10ポイント以下
 +20ポイント以上
 -20ポイント以下

市の方が集まっているのに比べると、「駅近」の意味はやや遠いと言える。逆に新座市の15分以内、20分以内
 に比べると武蔵野市の方が「駅近」の程度が近いということになるわけである。

3-3. 役職者と定年後

次に、居住地地域別に役職者や高齢者の生活についてみていきたい。表8は、居住地×役職の表であるが、武蔵野市吉祥寺地域に部長・課長・マネージャークラスが22.8%、中央地域には経営者・役員/パートナー

表11

居住地X武蔵野市内及び近隣 起業したい理由

- TOTALでは、「自分の知識や経験を生かしたいから」が58.7%と最も高くなっている。
- 武蔵野市（中央地域）では、「自分の知識や経験を生かしたいから」が70.0%、「高収入を得たいから」が40.0%、「別の収入を得たいから」が40.0%、「時間が自由に使えるから」が35.0%と高かった。
- 武蔵野市（武蔵境地域）では、「自分の知識や経験を生かしたいから」が70.0%、「会社組織で働くことが好きでないから」が23.3%、「時間が自由に使えるから」が36.7%、「社会に役立ちたいから」が40.0%と高かった。

上段: 直数 下段: %	n	自分の知識や経験を生かしたいから	新技術, プランなどを試したいから	能力を高めたいから	高収入を得たいから	別の収入を得たいから	チャレンジするものが好きだから	今の会社・仕事が好きだから	会社組織で働くことが好きだから	時間が自由に使えるから	社会に役立ちたいから	その他	特に理由はない
TOTAL	259	152	40	62	83	67	57	23	40	71	54	3	10
	100	58.7	15.4	23.9	32.0	25.9	22.0	8.9	15.4	27.4	20.8	1.2	3.9
杉並区	25	15	5	7	6	7	5	2	1	6	2	0	2
	100	60.0	20.0	28.0	24.0	28.0	20.0	8.0	4.0	24.0	8.0	0.0	8.0
練馬区	20	14	5	7	8	6	3	4	5	4	1	0	0
	100	70.0	25.0	35.0	40.0	30.0	30.0	15.0	20.0	25.0	20.0	0.0	0.0
武蔵野市(吉祥寺地域 — 吉祥寺東町, 吉祥寺南町, 御殿山, 吉祥寺本町, 吉祥寺北町)	45	20	7	7	13	4	8	3	7	9	9	1	4
	100	44.4	15.6	15.6	28.9	8.9	17.8	6.7	15.6	20.0	20.0	2.2	8.9
武蔵野市(中央地域 — 中町, 西久保, 緑町, 八幡町)	20	14	4	4	8	8	5	0	2	7	3	1	0
	100	70.0	20.0	20.0	40.0	40.0	25.0	0.0	10.0	35.0	15.0	5.0	0.0
武蔵野市(武蔵境地域 — 関前, 境, 境南町, 桜塚)	30	21	6	5	11	9	4	2	7	11	12	0	0
	100	70.0	20.0	16.7	36.7	30.0	13.3	6.7	23.3	36.7	40.0	0.0	0.0
三鷹市	24	12	3	8	9	5	8	4	3	4	5	0	0
	100	50.0	12.5	33.3	37.5	20.8	33.3	16.7	12.5	16.7	20.8	0.0	0.0
小金井市	29	16	3	10	8	10	5	1	4	12	8	0	0
	100	55.2	10.3	34.5	27.6	34.5	17.2	3.4	13.8	41.4	27.6	0.0	0.0
西東京市	27	19	4	6	10	11	8	6	7	10	8	0	2
	100	70.4	14.8	22.2	37.0	40.7	29.6	22.2	25.9	37.0	29.6	0.0	7.4
調布市	25	13	1	4	7	5	4	1	3	6	1	0	2
	100	50.0	3.8	15.4	28.0	19.2	15.4	3.8	11.5	23.1	3.8	0.0	7.7
新座市	13	8	2	4	3	2	4	1	2	1	0	1	0
	100	61.5	15.4	30.8	23.1	15.4	30.8	7.7	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0

■ 設定: ポイント差情報
 ポイント差 対TOTAL計
 +5ポイント以上
 -5ポイント以下
 +10ポイント以上
 -10ポイント以下
 +20ポイント以上
 -20ポイント以下

が9.8%と全体の6.3%よりも高くなっている。武蔵境地域でも、役職者全体で39.0%であり、全体の36.7%よりも少し高くなっているし、アルバイトの割合は5.7%で、全体の13.0%の半分以下である。次の表9は居住地×職業であるが武蔵野市中央地域で「無職」が18.7%

とかなり多くなっている。定年退職後の無職を意味しているものと思われる。会社役員の欄では、武蔵野市では中央地域で4.1%と多いが、吉祥寺地域=2.6%、武蔵境地域=2.3%とバラつきがあり、杉並区=3.7%、西東京市=4.2%かと思えば、練馬区=0.9%、小金井市=

起業X性年代

- TOTALでは、「男性50-59歳」が20.6%と最も高く、次いで「男性40-49歳」が15.1%、「女性40-49歳」が14.1%となっている。
- 起業を「是非してみたいと思う」では、「**男性50-59歳**」が32.7%と最も高く、次いで「**男性40-49歳**」と「**男性60-69歳**」が15.4%、「女性40-49歳」が11.5%となっている。

■ 男性15-19歳 ■ 男性20-29歳 ■ 男性30-39歳 ■ 男性40-49歳 ■ 男性50-59歳 ■ 男性60-69歳 ■ 男性70歳以上
 ■ 女性15-19歳 ■ 女性20-29歳 ■ 女性30-39歳 ■ 女性40-49歳 ■ 女性50-59歳 ■ 女性60-69歳 ■ 女性70歳以上

		n=											(%)
TOTAL		1954	3.9	15.1	20.6	11.1	39.2	8.8	14.1	10.6	5.8		
Q24 あなたは武蔵野市及び近隣で起業してみたいと思いますか。(回答は1つ)※近隣地域としては、杉並区、練馬区、三鷹市、小金井市、西東京市、調布市、新座市を想定して	是非してみたいと思う	52	8.8	15.4	32.7	15.4	9.4	11.5	11.5	3.8			
	まあしてみたいと思う	207	10.2	19.8	27.5	6.8	13.2	8.2	9.7	11.1	8.9		
	どちらともいえない	550	27.1	18.9	28.0	9.8	25.1	7.3	11.5	7.1	8.5		
	あまりしたとは思わない	414	8.8	14.3	18.4	11.6	20.1	8.9	15.9	10.6	6.8		
	全然してみたいとは思わない	731	9.8	11.4	13.4	12.6	5.9	2.7	9.8	16.6	13.7	6.2	

●表例：Q24 あなたは武蔵野市及び近隣で起業してみたいと思いますか。(回答は1つ) 近隣地域としては、杉並区、練馬区、三鷹市、小金井市、西東京市、調布市、新座市を想定してください。※起業とは、会社設立・NPO設立・店舗開業・独立等または新分野へ進出することを指します。

図1

起業X世帯年収

- TOTALでは、「答えたくない」が14.6%と最も高く、次いで「1000万-1500万円未満」が11.1%、「500万-600万円未満」が8.7%となっている。
- 起業を「是非してみたいと思う」では、「**400万-500万円未満**」が13.5%と最も高く、次いで「**700万-800万円未満**」、「**1000万-1500万円未満**」が11.5%となっている。

■ 100万円未満 ■ 200万円未満 ■ 300万円未満 ■ 400万円未満 ■ 500万円未満
 ■ 600万円未満 ■ 700万円未満 ■ 800万円未満 ■ 900万円未満 ■ 1000万円未満
 ■ 1500万円未満 ■ 2000万円未満 ■ 2000万円以上 ■ わからない ■ 答えたくない

		n=											(%)		
TOTAL		1951	2.9	6.9	7.4	8.3	8.7	6.6	6.7	4.0	5.9	11.1	2.9	8.0	14.6
Q24 あなたは武蔵野市及び近隣で起業してみたいと思いますか。(回答は1つ)※近隣地域としては、杉並区、練馬区、三鷹市、小金井市、西東京市、調布市、新座市を想定して	是非してみたいと思う	52	3.8	9.7	9.6	13.5	7.7	5.8	11.5	3.6	9	11.5	7.7	1.9	9.6
	まあしてみたいと思う	207	3.4	9.2	5.8	7.7	9.7	5.8	8.2	6.8	5.3	12.1	4.3	0.6	8.7
	どちらともいえない	549	3.3	5.6	8.2	7.8	10.2	5.6	6.6	5.1	5.3	10.4	2.9	7.5	15.3
	あまりしたとは思わない	413	2.2	5.6	5.8	9.0	8.0	5.6	4.8	4.8	6.3	14.8	3.1	0.9	15.7
	全然してみたいとは思わない	730	1.9	7.5	8.1	7.9	7.7	8.2	7.1	4.4	6.6	9.2	2.5	1.8	6

●表例：Q24 あなたは武蔵野市及び近隣で起業してみたいと思いますか。(回答は1つ) 近隣地域としては、杉並区、練馬区、三鷹市、小金井市、西東京市、調布市、新座市を想定してください。※起業とは、会社設立・NPO設立・店舗開業・独立等または新分野へ進出することを指します。

図2

起業X役職（武蔵野市在住・50代男性）

- TOTALでは、「部長・課長/マネージャー」が42.5%と最も高く、次いで「経営者・役員/パートナー」が18.8%となっている。
- 起業を是非してみたのでは、「経営者・役員/パートナー」が62.5%と最も高く、次いで「個人事業（フリーランス含む）」が25%となっている。

Q9 現在の役職は、次のうちどれにあたりますか。(回答は1つ)※複数のご職業をお持ちの方は、主なもの1つをお答えください。

1段階目 2段階目 3段階目	度数 割合	経営者・役員/パートナー	部長・課長/マネージャー	係長・主任/リーダー	一般社員/スタッフ	契約・委託/派遣	個人事業(フリーランス含む)	専門職・教員	アルバイト
0	Q24 あなたは武蔵野市及び近隣で起業してみたいと思いますか。(回答は1つ)※近隣地域とは、杉並区、練馬区、三鷹市、小金井市、西東京市、調布市、新座市	(80) 15 18.8	(80) 34 42.5	(80) 7 8.8	(80) 11 13.8	(80) 2 2.5	(80) 8 10.0	(80) 0 0.0	(80) 3 3.8
1	是非してみたいと思いますか。(回答は1つ)※近隣地域とは、杉並区、練馬区、三鷹市、小金井市、西東京市、調布市、新座市	(8) 5 62.5	(8) 0 0.0	(8) 0 0.0	(8) 0 0.0	(8) 1 12.5	(8) 2 25.0	(8) 0 0.0	(8) 0 0.0
2	まあしてみたいと思う	(22) 5 22.7	(22) 9 40.9	(22) 2 9.1	(22) 1 4.5	(22) 0 0.0	(22) 4 18.2	(22) 0 0.0	(22) 1 4.5
3	どちらともいえない	(29) 4 13.8	(29) 18 55.2	(29) 1 3.4	(29) 4 13.8	(29) 1 3.4	(29) 2 6.9	(29) 0 0.0	(29) 1 3.4
4	あまりしたいとは思わない	(11) 0 0.0	(11) 7 63.6	(11) 2 18.2	(11) 1 9.1	(11) 0 0.0	(11) 0 0.0	(11) 0 0.0	(11) 1 9.1
5	全然してみたいとは思わない	(10) 1 10.0	(10) 2 20.0	(10) 2 20.0	(10) 5 50.0	(10) 0 0.0	(10) 0 0.0	(10) 0 0.0	(10) 0 0.0

■ 検定・ポイント差情報
 ポイント差
 対TOTAL行

-5ポイント以上	+10ポイント以上	+20ポイント以上
-5ポイント以下	-10ポイント以下	-20ポイント以下

2-2 市民アンケート

図3

0.9%、新座市=1.4%と郊外住宅地域との相関はあまり見られない結果となっている。

次に起業についてみていくことにしよう。表10では、居住地×武蔵野市内及び近隣で起業してみたいかどうかを聞いたものであるが、「是非、してみたい」と「まあ、してみたいと思う」を合計した数値で、吉祥寺地域=23.6%、中央地域=16.3%、武蔵境地域=22.6%と全体の平均13.3%を上回っている。「全然してみたいとは思わない」が、全体でも37.4%、練馬区=43.7%、調布市=46.9%、新座市=48.8%と比較すると、武蔵野市が28%台であるのは驚異的に少ないと言える。次の表11では、これに起業したい理由を聞いている。それによると、武蔵野市中央地域と武蔵境地域で「自分の知識や経験を生かしたいから」が70.0%と高率になっているのが目立っている。これ以外の理由では、「高収入を得たいから」「別の収入を得たいから」も挙がっているが、「会社組織で働くことが好きでないから」「時間が自由に使えるから」「社会に役に立ちたいから」などの理由も挙げられている。起業×性年代でグラフにしてみると、図1のようになる。起業を「是非してみたいと思う」では、「男性50~59歳」が32.7%と最も高く、次いで「男性40~49歳」と「男性60~69歳」が15.4%、「女性40~49歳」が11.5%となっている。図2の起業×

世帯年収では、興味深い結果として、起業を「是非してみたいと思う」では、「400~500万円未満」が13.5%と最も高く、次いで「700~800万円未満」「1000~1500万円未満」が11.5%となっている。このように、起業に関心を向ける層は、年収の少ない層ばかりではなく、年収のある程度高い層にも浸透しており、二極分解が見られるとも言えそうである。このうち、武蔵野市在住の50代男性に限った起業×役職の関係を見たのが図3である。起業を「是非してみたいと思う」では、「経営者・役員/パートナー」が62.5%で最も高く、「個人事業（フリーランスを含む）」が25%となっている。これからも、役職者の起業に対する積極的な意欲が読み取れるのである。

4. 駅勢圏という発想

4-1. 来街者調査

来街者調査は、JR中央線の吉祥寺駅、三鷹駅（北口）、武蔵境駅の3駅で実施された。2018年3月12日(月)、13日(火)、18日(日)のいずれも10時~20時（もしくは21時）まで、以下に示す吉祥寺駅、三鷹駅（北口）、武蔵境駅周辺を利用している15歳以上の方へのストリートキャッチ調査を行った。獲得票数は吉祥寺駅=1029票、三鷹駅（北口）=411票、武蔵境駅=366票であっ

<調査手法概要>

5 調査する場所

★印：

夜間（18時～21時）も実施

- ① 吉祥寺駅北口駅前広場周辺★
- ② コビス吉祥寺周辺★
- ③ 丸井周辺★
- ④ 吉祥寺駅前交差点
～パルコ前交差点周辺
- ⑤ 西友吉祥寺店
サンロード側入口周辺
- ⑥ ヨドバシカメラ裏・
コミュニティセンター・
吉祥寺図書館周辺
- ⑦ 東急周辺



2-4 武蔵野市産業振興計画来街者調査

地図1

<調査手法概要>

5 調査する場所

★印：夜間（18時～21時）も実施

- ① 三鷹駅北口駅前広場東側周辺★
- ② 三鷹駅北口駅前広場西側周辺★
- ③ かたらいの道武蔵野タワーズ周辺
- ④ 三鷹通り東急ストア界隈
※南口は三鷹市となるため対象外です。



2-4 武蔵野市産業振興計画来街者調査

地図2

た。調査する場所については、①から吉祥寺駅周辺＝地図1、三鷹駅（北口）周辺＝地図2、武蔵境駅周辺＝地図3で示した。

以下では、来街者調査の基本属性などは、省略して、3駅の来街者の比較にポイントを絞って見ていきたい。

「ストリートキャッチ」という調査手法の特徴として、仕事や用事で駅を利用し、目的地に向かう人たちは基本的に調査協力が難しい。したがって、来街者の主要な目的がショッピングに集中する傾向はどこでも同様である。図4、5、6を比較すると吉祥寺駅では、来

<調査手法概要>

5 調査する場所

★印：夜間（18時～21時）も実施

- ① 武蔵境駅南口駅前広場周辺★
- ② 武蔵境駅北口駅前広場・すきっぷ通り入口周辺★
- ③ 武蔵野プレイス周辺
- ④ スイング周辺



2-4 武蔵野市産業振興計画来街者調査

78

地図3

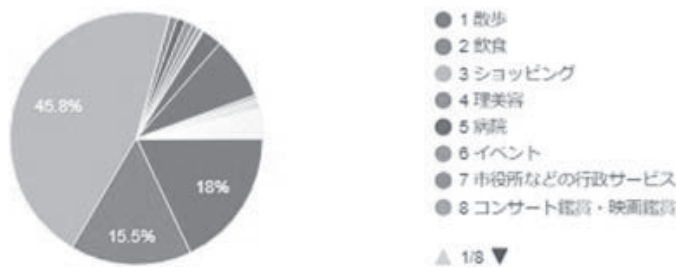
街者の主たる目的は、①ショッピング45.8%、②散歩18%、③飲食15.5%、④通勤・通学7.9%となっている。図4の三鷹駅（北口）の来街者は、①ショッピング25.7%、②散歩22.4%、③通勤・通学15%、④飲食14.5%となっている。図5の武蔵境駅の来街者を見ると、①

ショッピング28.2%、②散歩18.2%、③飲食15.4%、④通勤・通学14.8%となっている。少数だが、図書館2.5%、病院2.2%も注目される。

他のデータでも、例えば、来街者の「お住まい」の項目では、図7のように、吉祥寺が26.3%で最も高い

3 目的など

(1) 主たる目的(n=1,007)



◇コメント

- ・主たる目的は、ショッピング45.8%と半数近くを占めた。
- ・続いて散歩18%、飲食15.5%、通勤・通学7.9%と続いた。
- ・理美容1%、イベント1%、コンサート鑑賞・映画鑑賞0.7%となった。

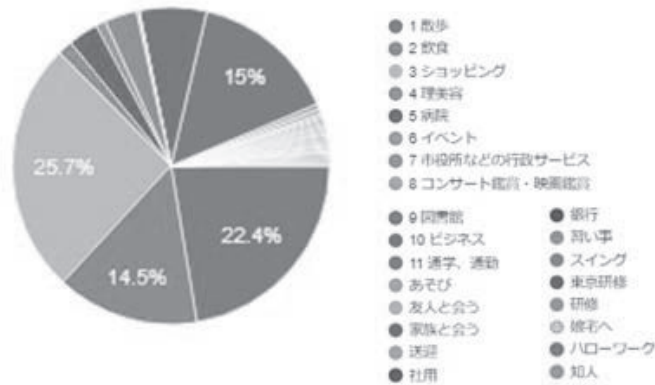
2-4 武蔵野市産業振興計画来街者調査

15

図4

3 目的など

(1) 主たる目的(n=393)



◇コメント

- ・主たる目的は、ショッピング25.7%が最も高かった。
- ・次いで、散歩22.4%、通学・通勤15%、飲食14.5%となった。
- ・割合は少ないが、ビジネス6.9%、病院3.1%、市役所などの行政サービス3.3%となった。

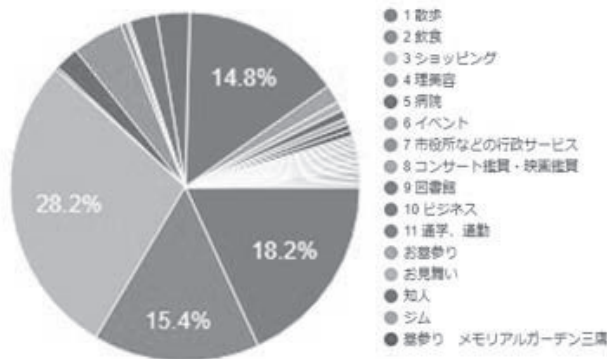
2-4 武蔵野市産業振興計画来街者調査

52

図5

3 目的など

(1) 主たる目的(n=358)



◇コメント

- ・主たる目的は、ショッピング28.2%が最も高かった。
- ・次いで、散歩18.2%、飲食15.4%、通学・通勤14.8%となった。
- ・少数だが、図書館2.5%、病院2.2%もあった。
- ・イベント4.7%で、3駅の中では最も高い。

2-4 武蔵野市産業振興計画来街者調査

89

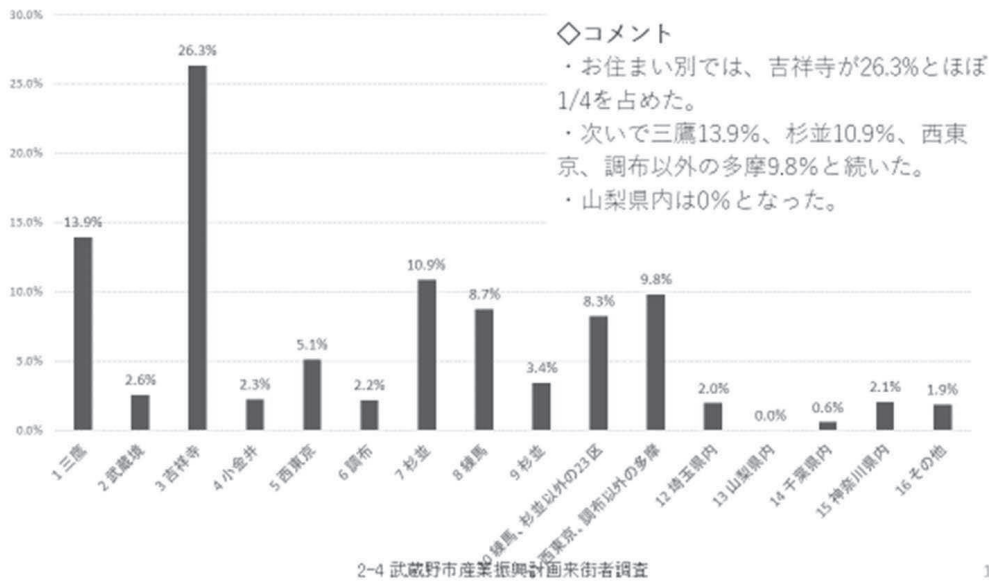
図6

とは言え、三鷹 = 13.9%、杉並 = 10.9%、練馬 = 8.7% なども結構多いことが分かる。三鷹駅（北口）の三鷹 = 50.3%、武蔵境駅の武蔵境 = 32.5%と比べると、吉祥寺駅利用者の広範囲性が読み取れる。図8の来街者の「主たる利用手段」において、吉祥寺では、電車 = 32.9%

と最も高く、徒歩 = 27.5%、バス = 19.7%、自転車 = 17.1%と続いている。これも、三鷹駅（北口）の徒歩 = 47.1%、武蔵境駅のバス = 29.2%、徒歩 = 27.5%と比較すると吉祥寺駅の電車の利用が目立っている。武蔵境駅のバスが主にムーバスという近距離用バスである

1 基礎項目

(5) お住まい(n=1,018)

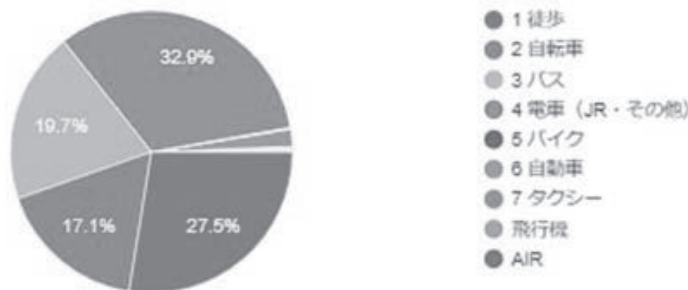


10

図7

2 頻度など

(4) 主たる利用手段(n=1,006)



14

図8

ことを考えると、吉祥寺駅の「駅勢圏」の広範囲性が理解できるのである。

4-2. 武蔵野市3駅の比較

他にも来街者調査のデータはいろいろあるが、ここ、

最後に3駅の比較を全体のイメージで表した図形から把握してみよう。図9は、訪れたまちの感想や各種魅力を(1)明るさ、(2)親しみやすさ、(3)楽しさ、(4)文化的、(5)高級感、(6)若者らしさ、(7)個性的、(8)美しさ、(9)訪問しやすさ、(10)町の規模が手ごろ、(11)多様性、(12)いろ

1 吉祥寺駅、三鷹駅（北口）、武蔵境駅の全体比較

・来街者アンケートでそれぞれの要素を5スケールで把握し、ポジティブ・ネガティブでとった値をグラフ化した。

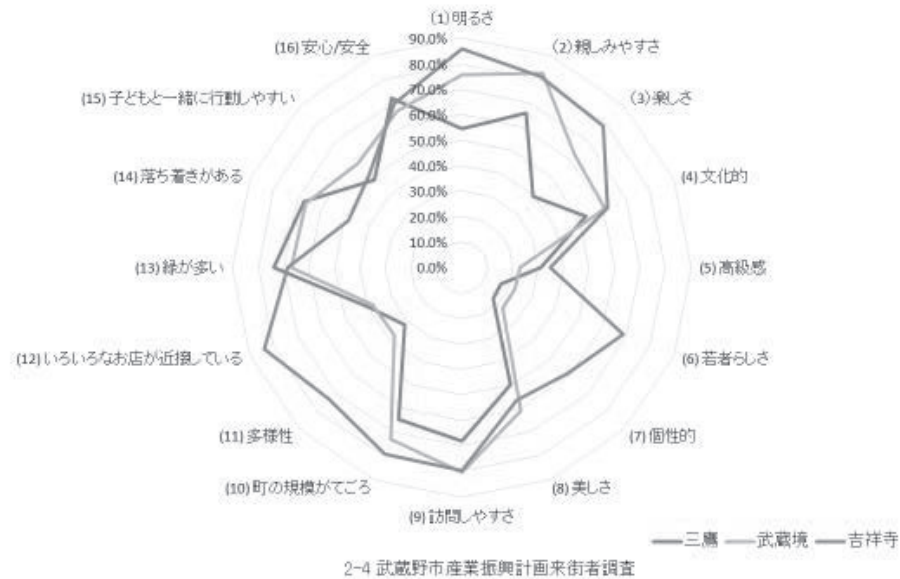


図9

いろいろなお店が近接している、(13)緑が多い、(14)落ち着きがある、(15)子どもと一緒に行動しやすい、(16)安心/安全の16項目を5スケールで把握し、ポジティブ・ネガティブでとった値をグラフ化したものである。

これを見ると、吉祥寺駅で若者らしさ、お店の近接性などは突出しているが、武蔵境駅も親しみやすさ、個性的、緑が多い、落ち着きがあるでは、吉祥寺を上回っているし、全体的に肯定感が低い三鷹駅（北口）でも落ち着きがあるや安心/安全では、他の2駅に比べても健闘している、と言える。

このように、単に商業空間ばかりの駅勢圏ではなく、それぞれの町の魅力を引き出す新たな駅勢圏が求められているとも言えるのである。

4-3. ペルソナ分析について

「ペルソナ」とは、もともと舞台上でつける「仮面」というラテン語が語源になっているように、行為場面における「役割」やパーソナリティ、深層心理などを分析する用語である。しかし、役割演技のドラマツルギーや臨床心理学的な分析をここで当てはめようとしているわけではない。駅勢圏ごとの、人物像や対象とする人間像を明らかにして、主に商業を対象とする消費者像を解明していこうとする分析である。ペルソ

ナ分析とは、マーケティング（市場動向調査）においては、消費者のニーズや「客層」分析、年代、ジェンダー、階層など様々なファクターから消費者像を描いていくが目指されている。しかしここでは、マーケティングだけに限定せず、社会学の人間像あるいは、都市的人間像を描くことを目標としている。

さらに、ペルソナ分析に入るのかどうかかわからないが、都市社会学の学問的特徴の一つは、「空間と人間との相互作用」という点である。都市社会学の学説・理論的に言うと、新都市社会学が問題提起した「空間論的転回」である。M・カステル、D・ハーヴェイらの「空間論的転回」とは、思想的にはル・フェーブルやレイ・アルチュセールらの構造主義的マルクス主義が提起し、「集合的消費」としての都市のあり方を、国家、資本主義、階級などの政治・経済学的変数が都市の在り方を決めていく、という従属変数としての都市の姿から出発している。もちろん、資本主義の在り方を本質的に問い直すマルクス主義の理論的・思想的背景が根本にはあるが、21世紀の今日、むしろ空間の変容は、消費社会としての都市の日常の姿でもある。したがって、「空間と人間との相互作用」という学問領域の特徴として都市社会学を位置づけることができる。具体的に言うならば、再開発やショッピング・モールを通じ

での「場所性の喪失」や場所と記憶の問題、「場所を消費する」消費社会の特徴など、「空間と人間との相互作用」という局面についてである。特に、武蔵野市をはじめとして、大消費地・東京の再開発や空間の変容は、人間像の変貌に大きく影響している。ペルソナ分析という場合、このような「空間と人間の相互作用」を考察していくことは重要であると考えられる。

5. 駅勢圏ごとの分析

JR 中央線の吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅の3駅には、それぞれ北口と南口の2つの出口があり、それぞれの駅空間と駅勢圏を形成している。JRの駅そのものも、高架鉄道という点では共通しているが、駅の建物、階数、改札口、乗り換え口などは微妙に異なっている。

吉祥寺駅は、京王井の頭線の終点駅であり、渋谷方向への乗り換え口である。また、武蔵境駅では、西武多摩川線に乗り換えられ、調布市、府中市方面に伸びている。また、武蔵野市には、豊富なバス路線があり、吉祥寺、三鷹、武蔵境の各駅間からバス路線が発着するとともに、中央線の駅から距離が離れている地域もバスによる通勤通学の足が確保されている。

そのことも、武蔵野市を総合的に考察する際には、重要な要素である。

5-1. 吉祥寺駅

3つの駅の中では、圧倒的に商店街が大きく、商業ビルも多い。しかし、吉祥寺のまちの大きな特徴は、何とんでも「井の頭恩賜公園」という緑の公園であろう。東京に住んでいる人がおそらく一度は訪れている都内名所の一つである。「井の頭池」「ボート場」「井の頭自然文化園（動物園）」「野外ステージ」「テニスコート」「野球場」「小鳥の森」「三鷹の森ジブリ美術館」などさすが、開園百年を迎える歴史と伝統にあふれている。

南口（公園口）が、井の頭公園への入口と三鷹市方面へのバス乗り場などが入り組んでいて、確かに「再開発」を望む声がありながら、寺院の所有地ということから思うように進んでいないという実態が存在している。この点に関しては、後述してみたい。それに比べて、北口は、商店街、商業地域が広がっている。北口の場合にも、吉祥寺大通りや本町新道沿いには、業

務型のビルや大型店舗が並んでいる。それに対して、駅を背にして左側、アーケード街のサンロード商店街、ダイヤ街は、中小の小売店が中心である。それよりもっと小さなハーモニカ横丁は、吉祥寺北口のすぐ近く、駅の真ん前に展開している。左側の中心は東急百貨店である。

吉祥寺駅のペルソナ分析を試みるとすれば、吉祥寺駅来訪者の来訪目的と北口・南口との交流人口に目を向ける必要があるかもしれない。京王井の頭線乗降客や中央線で吉祥寺に降りる人々でも南口（公園口）の「井の頭公園」が来訪目的であるとする、なかなか足が北口へは向かわない傾向があるのかもしれない。逆に、北口への買い物客が公園にも足を向けているかも重要なデータとなる。ペルソナ像としては、地元住民、近隣住民、遠方からの観光客、年齢、男女、若者か高齢者か、一人か友人同伴かあるいは家族づれか、など多様な分類が可能となるし、1日の時間帯によっても、平日か休日か、四季や祭り、イベントなどによっても大きく変わってくる。

吉祥寺を代表するハーモニカ横丁や居酒屋「いせや」などは、終戦直後の「闇市」や昭和のムードを色濃く漂わせている店であるが、吉祥寺全体のまちは、1990年代、2000年代ころの「若者のまち」という印象も強い。そのあたりの変化はどのように起こったのだろうか？ バブル期以後の都市の活性化の鍵を握ってきたのは、電鉄やデパートなどの資本であった。東急、京王、小田急、伊勢丹などの電鉄、百貨店資本が競い合うことで、都市を活性化させてきた東京の代表的盛り場は、渋谷、新宿、下北沢、自由が丘などと並び称される吉祥寺駅である。しかし、その割には、井の頭恩賜公園にしても、ハーモニカ横丁、いせやなどがすべて「ノスタルジック・シティ」を構成している。例えば、下北沢の映画、演劇、ライブなど若者を中心とした「サブカルチャーのまち」というペルソナ像と比較すると、文化形成の新陳代謝の力において、やや劣るところがある。「ノスタルジック・シティ」の特徴は、特定の年代を中心として、彼らの「思い出・記憶」が鍵となっており、ジブリの森や漫画文化のように、継承されていく要素が低いと言わざるを得ない。次に、三鷹駅について見ていきたい。

5-2. 三鷹駅

三鷹駅に関しては、御殿山通り（玉川上水）を境目として、その北側が武蔵野市、南側は三鷹市となっている。したがって、北口側がほぼ武蔵野市のエリアで南口側はほぼ三鷹市に属する。三鷹駅南口については、三鷹市の領域になり、この報告書の範疇を超えるが、他の駅の再開発と少し異なるので、言及しておきたい。JR中央線の改札口は、高架鉄道（1階相当）ホームから1階上がって、2階が使用されている。そこから、吉祥寺のようにさらに下がって、地上から歩き出すタイプの出口が通常であるが、三鷹駅南口の場合は、そのまま2階で歩道を歩く形となり、目的方向の建物へペDESTリアンデッキが伸びている。この形式だと地上のバスターミナルなども省略でき、商店街などへの来訪目的も明確化されるが、一方、駅を出てからのブラブラ歩き、「まち探索」が阻害される恐れもある。地上にすぐ出る方式であれば、駅への行き、戻りも容易であり、道を間違えた場合の横道から道を修正していく経路も可能であるが、ペDESTリアンデッキの場合には、高層ビルなどへのアクセスは容易であるが、放射状にのびる駅からの道へのアクセスは難しくなる。再開発にはこの点も考慮する必要があるものと思われる。

さて、三鷹駅北口は、各方向へのバスターミナルが緑地の周囲にあって、比較的広い広場となっている。駅の北側は、横河電機、モンテローザ、松屋フーズなどの本社ビルがあり、また、市役所、警察署、文化会館、中央図書館などの公共施設が集中している。この三鷹駅北口には、中町、吉祥寺北町、西久保、緑町など大きな住宅街が広がっている。三鷹駅の場合、住民と通勤客の割合が多いように思われる。

駅勢圏の範囲には入らないが、武蔵野市役所から三鷹駅までの間にある、緑町商栄会、グリーンパーク商店会、緑町一番街などは、団地の人々の商店街であるが、現在ではシャッター通りの様相を呈しているし、五日市街道を超えて、西久保3丁目の方に入っても、同様の商店街は多い。これらの地域の商店街は、武蔵野市だけではないが、東京の多くの住宅街で進んでいる、人口減少や単身世帯の増加という傾向と深く関係している。つまり、家族世帯を対象とし、専業主婦が毎日の買い物に出ていた、近くの商店街での日常的な

買い物行動が影を潜め、共働き家族、単身世帯の増加によって、スーパーかコンビニで買い物をする、あるいは、通勤途上の駅での買い物に変化していったのである。また、商店街の小売店側でも、大型店舗による売り上げの減少、後継者不足、住宅（マンション）への建て替えなど様々な要因によって、地元の商店街の崩壊という現象が進んでいるのである。

この問題は、駅勢圏における来訪者のペルソナ分析とは別の項目において検討していかなければならない問題である。

そこで最後に、三鷹駅北口のペルソナ分析であるが、従業員や働く人々が中心であろうと思われる。言わば、武蔵野市の平均的な住民のペルソナに近い消費者像が浮かび上がってくる。もちろん、武蔵野市、三鷹市に所在している多くの学校などへの通学者も含まれている。JR中央線は、特別快速を走らせていて、新宿以西では、中野、三鷹、国分寺、立川が停車駅である。このため、三鷹駅は乗降客以上にホームでの乗り換え客も多い。基本的にはJR東日本が考えることではあるが、エキナカの店舗や駅ビルでの商業戦略やサービス提供も工夫する必要があると考えられる。例えば、この東京都多摩地域には多くの自治体が存在しているが、行政サービスを行うサテライトオフィスを三鷹駅近くに設けることによって、沿線住民や近隣の住民にとっては、時間の省略を計れるわけである。最後に武蔵境駅について見ていきたい。

5-3. 武蔵境駅

武蔵境駅は、1階に改札口があって、北口、南口が地上で接している。駅前再開発が最終的に終了したのは2016年ころでつい最近である。北口にもムーバスなどのバス停もあるし、南口にはバスターミナルがロータリー状になっている。南口のシンボリックな商業施設はイトーヨーカドーで西館、東館と並んでいる。北口は、多くのファースト・フード店や居酒屋チェーンが目立つし、クイーンズ伊勢丹というスーパーもあるが、伊勢丹デパートが入っているわけではない。武蔵境駅の近くには、亜細亜大学、日本獣医生命科学大学、聖徳学園、日赤看護大など多くの学校があり、また、武蔵野市内ではないが、三鷹市、府中市方面には、杏林大学、国際基督教大学（ICU）、東京神学大、ルーテル

学院大、東京外国語大学などが存在していて、武蔵境駅を乗換駅として利用している可能性は高いのである。また武蔵境駅は、西武多摩川線という線の起点となっており、都立野川公園や多摩川競艇場へと伸びており、是政が終点となっている。確かに、京王線やJR南武線などとの連絡がないため、不便ではあるが、沿線住民の重要な足になっていることは事実である。

武蔵境駅の商店街としては、駅前商店街、通称「すきっぷ通り」があり、亜細亜大学の学生たちもよく利用している。確かに、駅前から車両通行を一部規制して、歩行者優先の商店街に向けて整備し、店も新しくリニューアルした形跡も感じはよいが、これと言って特徴がない商店街でもある。ファースト・フード店やチェーン店が多いのは、駅前という地価からして仕方ないのかもしれないが、例えば、亜細亜大学の学生たちに経営のアイデアを募集するとか、日本獣医生命科学大学という特徴ある学生たちとペットや動物・生命に関する店を提供するとかいろいろと考えられるところである。

武蔵境駅においてもう一つ特筆に値するのは、南口にある「武蔵野プレイス」という図書館である。図書館機能を備えてはいるが、通常の図書館と違って、「地域のまちづくり」の一環として、「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」の機能を併せ持った複合機能施設である。このような施設は、武蔵野市行政の特色を生かした活動であり、高く評価することができる。住民活動、社会教育と並んで、商店街活動やまちづくり、市内の大学・研究機関などとの連携においても利用可能であると思われる。「武蔵野プレイス」は、産業振興の観点からも、実験的な起業や学生たちのワークショップ、コンサルタント業などのワークスペースとしても今後、開放していく方向での検討が必要になってくるのではないだろうか。

そこで、武蔵境駅の来訪者のペルソナ分析としては、一言でいうと「学ぶ人」の相貌ということになるだろうか。「学ぶ人」というのは、通学している学生たちだけを意味しない。「生涯学習」という意味で、すべての年齢の住民、働く人、社会人が対象となる。特に、IT技術などのイノベーションが日進月歩の今日であるので、多くの人にとって。日々学ぶ姿勢が要求される。そこが、武蔵境駅の「学ぶ人」のペルソナ像というこ

とである。

5-4. 3駅の比較とペルソナ分析

ここまで、駅勢圏ごとの来訪者のペルソナ分析を検討してきたが、3つの駅ごとに比較してみると、まとめると、吉祥寺駅の「遊ぶ人」「憩う人」のペルソナ像、三鷹駅の「働く人」「暮らす人」のペルソナ像、そして武蔵境駅の「学ぶ人」「創る人」のペルソナ像というようになる。もちろん、ここまで抽象化してよいかどうか、産業構造や産業振興の観点からは異論もあるであろうが、大胆にアイデアを絞って、ペルソナ像を明確化することも一つの政策ではないかと考えられる。何故ならば、東京西部地域、多摩地域には多くの自治体が存在し、JR中央線の駅沿線でさえ、中野、高円寺、荻窪、西荻窪、吉祥寺、三鷹、武蔵境、武蔵小金井、国分寺、国立、立川と連続しており、特色が発揮できているかどうか疑わしい。武蔵野市にある3駅のペルソナ像を以上のように明確化してアピールするという政策も考えられるのではないだろうか。

6. おわりに

本稿では、「平成29年度武蔵野市産業振興計画事前調査」のデータを利用して、東京の郊外都市・武蔵野市の住民像の変貌について記述してきた。もちろん今回の調査と執筆を終えて、もちろん、まだ課題も多い。3節、4節で利用した市民アンケート調査、来街者調査のデータに関しても全貌を示したわけではない。十分検討しえなかった、インターネット販売やネット消費に関する傾向、学生アンケート調査の起業意向に関するデータなども興味深いものである。

しかし、本稿に関する課題だけに絞っても3つほど指摘できる。第一に、武蔵野市の吉祥寺地域、中央地域、武蔵境地域の3地域の住民像が、3駅を利用する住民像と一致しているのかどうかという課題である。「駅近」という条件を、徒歩利用や自転車利用と結び付けたが、車使用の高額所得者は、必ずしも「駅近」という条件に左右されない。そうであるならば、東京の郊外住民像として「武蔵野市」を選んだこと自体、必ずしも「典型」とは言えない。第2に、産業振興や起業に関しても、都市空間に関連のない事業も考えられる。インターネット起業や情報産業になると、武蔵野

市を本拠地としなくても、十分収入を上げることもできる。住民の移動、事業所の移転も視野に入れながら、武蔵野市の産業振興を考えていかないと未来社会には遅れてしまうかもしれない。つまり、「移動社会」という現実に対して、武蔵野市が固定した魅力を維持・発展することができるのかどうか、という課題である。第3に、「駅勢圏」で使用したペルソナ分析という概念

は、アンケート調査などの多様なデータと合致するものであるか？という課題である。もちろん、来街者調査は、訪れた人たちだけであり、住民によって作られる「ペルソナ」像とは一致しないかもしれない。必ずしも一つの顔を持つだけではない多様な側面をペルソナ分析によってどのように表現すべきなのか、このことも今後の課題となるであろう。